

親子聖書日課

NO.1845 2024.2/4-10

名前

[日]人間は成功した時が一番危ないです。レハブアムも王権が確立すると、高ぶり、律法を捨てました。神がしてくださったことを、自分がしたと思いがつたのです。当然、主の裁きが下りかけましたが、彼らがへりくだったので救われました。

[月]ユダは四方から攻め囲まれ、大ピンチに陥りました。しかし、彼らは「主に助けを求めて叫び」「主を頼み」としたので、主は上からの力をもって、敵を倒しました。四方から患難があっても、そこで主に祈るなら、必ず、救いの道が開かれます。

[火]神の前では人間の力は問題ではありません。敵が100万で、味方が58万であっても、勝利は数によりません。全能の主が共にいてくだされば、どんなに無力であっても、勝利できます。「分け隔てなく助けを与えてくださる」主を信じましょう。

[水]「主を信じたのに、喜びも平安もない」という人は、主を正しく求めているかどうか吟味してください。「心を尽くし、魂を尽くし、主を求め」とは、どんな時も全身全霊をもって行うことです。中途半端な求め方は祝されません。一心に求めましょう。

[木]主は世界中をパトロールされます。自分と心が一つになる人を探して、その人に大いなる力を与えます。心が一つになるとは、主を心の王座に迎え、わが思いでなく、主の思いを優先させる生き方です。人生のハンドルを主の明け渡しましょう。



[金]ヨシャファト王が最も力を入れたのは教育です。彼は高官、レビ人、祭司を教師として立て、聖書に基づいて民を教育しました。ですから彼の王国は揺るぐことはなかったのです。御言葉による教育を行うなら、家庭も教会も揺らぐことなく、祝されます。

[土]誰でも人に嫌われることは、語りたくないですね。しかし、ミカヤはアハブ王の嫌うことを語りました。預言者は人に好まれることを語るのではなく、「神の言われること」だけを語るのです。その為に、日々御言葉に聴き従うことが大切です。

	聖書	問題	答え
日	歴代誌下 12:1-16	彼らがどうしたので、主は彼らを滅ぼさず、救われましたか。	
月	13:1-23	ユダの人々が勝ち誇ったのは、どうしてですか。	
火	14:1-14	主は力ある者にも無力な者にも分け隔てなく何を与えてくれますか。	
水	15:1-19	もし主をどうするなら、主はご自分を示してくださいませか。	
木	16:1-14	主はご自分をどうする者をカづけようとしておられますか。	
金	17:1-19	彼らは主の律法の書を携え、ユダで何を行いましたか。	
土	18:1-34	わたしの神がどうすることを、ミカヤは告げましたか。	
感想と祈りの課題			